

鎌田茂雄著「法華経を読む」講談社学術文庫、講談社 1994年2月10日刊を読む

信解しんげとは - 「信じる」ことと「理解」すること -

1. 信じて理解をすすめていくことが信解である。
2. 仏の教えを信じる。
次はその教えを理解する。
3. 理解することによって、さらに深く信じることができるようになる。
4. 「信じる」ことと、「理解」することとは、車の両輪のようなものである。
5. 経きょうもん文を信解することによって、それを実践する力を身につけることができる。

P81

[コメント]

「学習の3段階理論」の「理解」「定着」「応用」の第1ステップである「理解」の前に、先生の言うことを「信じる」ことがあることを気づかせてくれる。教育の前提は先生と生徒の信頼関係。生徒が先生の言うことを信じてはじめて「理解」が生まれ深まる。どのように先生は生徒の信頼を得たらよいのか。日蓮上人が「心の財たから第一なり」と伝えたこの法華経からシャカの晩年の教えを学ぶことをお勧めしたい。

- 2009年11月20日広島大学学士会館にて記す -